



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社テクノスジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 3666 URL http://www.tecnos.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 吉岡 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小林 希与志 (TEL) 03-3374-1212  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,908	△11.8	603	31.5	608	31.1	314	4.3
29年3月期第3四半期	4,430	35.6	459	7.8	464	7.6	301	3.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 315百万円(△1.0%) 29年3月期第3四半期 318百万円(9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	15.90	15.88
29年3月期第3四半期	15.10	15.08

(注) 当社は平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、さらに平成28年12月17日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首にこれら株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,817	3,105	81.1
29年3月期	4,674	3,718	73.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,097百万円 29年3月期 3,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				19.00	19.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	△4.3	683	△6.2	726	△1.2	417	△11.5	21.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 1社 (社名) テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期3Q	20,400,000株	29年3月期	20,400,000株
30年3月期3Q	681,200株	29年3月期	455,300株
30年3月期3Q	19,751,503株	29年3月期3Q	19,944,700株

平成28年3月25日開催の取締役会決議に基づき、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、平成28年11月14日開催の取締役会決議に基づき、さらに平成28年12月17日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調が長く続く一方、人手不足や個人消費の伸び悩み、製造業を中心に相次いで発覚した品質管理の不正や朝鮮半島情勢の緊迫化など懸念材料も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、企業収支の改善を背景にクラウド、ビッグデータ、IoT、AI等の利用拡大や、サイバー攻撃への対応等を中心に、IT投資が増加傾向にあります。また、ビットコインをはじめとする仮想通貨の高騰をきっかけに、これらを支えるブロックチェーンなどの技術が新たに注目を集めております。

このような状況の中、当社グループはERP・ビッグデータ・グローバルの三本を軸に、新規顧客への積極的な営業活動や既存顧客の深耕による受注拡大を図るとともに、品質管理の徹底などによるプロジェクト原価の低減に努めました。

また、当社の連結子会社であったテクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社におきましては、第三者割当増資等を実施した結果、第2四半期連結会計期間末より持分法適用関連会社へ異動しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、連結の範囲の変更や当初計画していたライセンス販売の減少等により売上高は3,908,825千円（前年同期比11.8%減）と減収となったものの、営業利益603,930千円（同31.5%増）、経常利益608,556千円（同31.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益314,102千円（同4.3%増）と増益となりました。

業務区分別の業績については次のとおりであります。

#### a 基幹システム及び周辺ソリューション

製造業、商社・小売業向けのERPシステム導入支援業務を中心に、売上高は3,832,971千円（同11.1%減）となりました。

#### b その他

ライセンス販売等により、売上高は75,853千円（同35.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ856,197千円減少し3,817,957千円となりました。これは主に関係会社株式が291,329千円増加し、売掛金が769,626千円、有価証券が100,000千円、投資有価証券が199,644千円減少したこと等によるものであります。

#### ②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ242,617千円減少し712,940千円となりました。これは主に買掛金が28,514千円、短期借入金が30,000千円、未払法人税等が86,677千円、未払消費税等が27,702千円、品質保証引当金が29,796千円減少したこと等によるものであります。

#### ③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ613,579千円減少し3,105,016千円となりました。これは主に自己株式が280,826千円増加（純資産の減少）し、利益剰余金が64,846千円、新株予約権が52,646千円、非支配株主持分が218,862千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は前期よりも下回ったものの、営業利益、経常利益については増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、第2四半期連結会計期間に特別損失（投資有価証券評価損）を計上したこともあり、微増となりました。平成30年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては平成29年10月31日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、今後の受注プロジェクト遂行状況・お客様のIT投資戦略・経済情勢の変化等の内的・外的様々な要因により、実際の業績と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,715,284	1,716,993
売掛金	1,712,478	942,852
有価証券	200,000	100,000
仕掛品	12,318	19,524
貯蔵品	1,746	1,546
前払費用	58,753	41,692
繰延税金資産	71,717	51,758
その他	51,223	67,371
流動資産合計	3,823,522	2,941,740
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	109,175	104,819
減価償却累計額	△41,783	△47,750
建物附属設備(純額)	67,391	57,069
工具、器具及び備品	55,699	58,070
減価償却累計額	△38,945	△44,774
工具、器具及び備品(純額)	16,754	13,296
有形固定資産合計	84,145	70,365
無形固定資産		
ソフトウェア	70,669	55,213
その他	36	36
無形固定資産合計	70,706	55,250
投資その他の資産		
投資有価証券	341,317	141,673
関係会社株式	44,358	335,687
長期前払費用	49,563	34,794
繰延税金資産	23,128	8,415
敷金及び保証金	172,044	149,785
保険積立金	54,356	62,123
その他	11,010	18,121
投資その他の資産合計	695,779	750,601
固定資産合計	850,631	876,217
資産合計	4,674,154	3,817,957

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	261,992	233,478
短期借入金	30,000	—
未払金	150,182	172,962
未払費用	62,373	47,051
未払法人税等	171,875	85,198
未払消費税等	98,115	70,413
品質保証引当金	37,730	7,933
受注損失引当金	5,636	5,636
賞与引当金	7,659	7,180
その他	86,673	44,332
流動負債合計	912,240	674,187
固定負債		
繰延税金負債	833	—
資産除去債務	42,484	38,753
固定負債合計	43,317	38,753
負債合計	955,557	712,940
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	562,520	562,520
資本剰余金	202,747	206,350
利益剰余金	2,973,825	2,908,978
自己株式	△299,865	△580,692
株主資本合計	3,439,227	3,097,156
新株予約権	60,506	7,860
非支配株主持分	218,862	—
純資産合計	3,718,596	3,105,016
負債純資産合計	4,674,154	3,817,957

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,430,750	3,908,825
売上原価	3,170,365	2,520,884
売上総利益	1,260,384	1,387,940
販売費及び一般管理費	801,208	784,010
営業利益	459,175	603,930
営業外収益		
受取利息	7	20
有価証券利息	2,581	1,923
その他	3,155	5,599
営業外収益合計	5,743	7,543
営業外費用		
持分法による投資損失	—	1,512
為替差損	676	—
支払手数料	—	1,404
その他	84	—
営業外費用合計	760	2,917
経常利益	464,158	608,556
特別利益		
持分変動利益	—	10,148
保険解約返戻金	6,635	11,019
特別利益合計	6,635	21,167
特別損失		
持分変動損失	—	2,425
投資有価証券評価損	—	98,843
ゴルフ会員権売却損	2,210	—
保険解約損	395	—
特別損失合計	2,606	101,268
税金等調整前四半期純利益	468,188	528,455
法人税、住民税及び事業税	166,519	184,065
法人税等調整額	△16,675	29,180
法人税等合計	149,843	213,246
四半期純利益	318,344	315,209
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,169	1,107
親会社株主に帰属する四半期純利益	301,174	314,102

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	318,344	315,209
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	318,344	315,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301,174	314,102
非支配株主に係る四半期包括利益	17,169	1,107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲に関する注記)

当社の連結子会社であったテクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社は、第三者割当増資により持分比率が低下したため、第2四半期連結会計期間末において連結の範囲から除外し、持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式283,500株を取得しております。また、新株予約権の権利行使により、自己株式57,600株を処分しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が280,826千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が580,692千円となっております。